



平成24年9月10日発行(毎月1回10日発行)

函館商工会議所報

# と も え

2012

9

No.354



## CONTENTS

### 巻頭特集

エネルギー動向に関する  
アンケート調査結果概要

- ◆新入会員ご紹介..... P10
- ◆企業探訪..... P12



函館商工会議所ホームページ  
<http://www.hakodate.cci.or.jp/>

しんくみのフリーローン

# チヨイス

使いみち自由

手続きカンタン

原則、本人確認資料のみでOK!

返済期間最長7年



Web・Fax  
仮審査  
24時間受付中!

原則、翌日までに仮審査結果をご連絡いたします。

<http://www.hakodate.shinkumi.jp/>

融資利率は4段階の固定金利

年利 **5%・7%・10%・14%**

保証会社が低い金利から順に審査を行い、お客様の審査結果に応じたご融資利率とご融資金額を決定いたします。

**最高300万円迄ご融資** ●お申し込みの際には審査をさせていただきます。 ●審査によってはご希望にそえない場合がございますので、ご了承ください。

### ご利用いただける方

- 以下の条件すべてを満たす方
- ①満20歳以上65歳以下で、完済時70歳以下であること
- ②安定・継続した収入の見込める方
- ③本ローン申込金額と当組合でのフリー系無担保ローン(カードローンを除く)残高の借入合計額が300万円以下であること

### ご融資金額

- 10万円以上300万円以下
- 但し、主婦・パート・アルバイトの方は30万円以下

### ご融資期間

- 7年以内

### お使いみち

- ご自由 但し、事業性資金は除きます

### ご融資利率

- 4段階金利とします 年5%、年7%、年10%、年14%

### 保証料率

- ご融資利率に含まれます

### 保証会社

- 全国しんくみ保証㈱

### 遅延損害金

- 年14%

### ご融資方法

- 証書貸付

### ご返済方法

- 毎月元利均等分割返済 (ボーナス併用返済不可)
- ご本人名義の預金口座からの自動引落としとします

### 連帯保証人

- 原則不要 但し、保証会社が必要と認めた場合は、この限りではありません。

### 提出していただく書類

- ①本人確認書類 運転免許証写し・写真付き住民基本台帳カード写し・健康保険証写し・パスポート写し・印鑑証明書のうち一点
- ②所得証明書 原則不要 但し、保証会社が必要と認めた場合は、この限りではありません。
- ※①②は連帯保証人についても必要となります



函館商工信用組合 <http://www.hakodate.shinkumi.jp/>  
本店/TEL(0138)23-2101(代) FAX(0138)23-0798

# ともえ

9月号  
(通巻354号)

## ■今月の表紙

### 「函館船場町荷揚げの景」

写真は、船場町(現在の末広町)を撮影した明治時代と推察される一葉です。

昭和初期まで存在した船場町は、表紙写真のとおり船からの荷揚げや、倉庫、造船所の町として発達していました。現在は、当時の倉庫を利用した金森赤レンガ倉庫などを有するベイエリア地区として、函館の観光名所となっています。

(函館市中央図書館所蔵)



## CONTENTS

2 特集  
エネルギー動向に関する  
アンケート調査結果概要

4 会議所のうごき  
● 函館・北斗・七飯経済団体協議会  
● 農水産部会と2委員会による合同説明会  
● 第4回函館市経済再生会議  
● 地域活性化特別講演会  
● 函館市中心市街地活性化協議会総会  
● 女性会  
● 青年部  
● 銭亀沢地区青年部

7 第54回 優良商工従業員表彰式

8 中小企業相談所だより  
● セミナー「成功する事業・失敗する事業」  
● 平成24年度 自家発電設備導入促進事業費補助金  
● 個別専門相談日程  
● マル経融資  
● 環境・エネルギービジネス個別相談会

10 新入会員ご紹介

11 新幹線情報

12 企業探訪  
● (株)かくまん

14 ご案内  
● はこだてカルチャーナイト  
● Soup Bar 出展者募集中

15 平成24年度下半期検定試験ご案内

16 連載コラム 快進撃企業に学べ  
● 世界に1本しかない万年筆を手作りする小さな文房具店

## 広告掲載企業

函館商工信用組合	表紙裏
(株)テーオー小笠原	裏表紙裏
中小企業基盤整備機構	裏表紙
ホンダカーズ南北海道(株)	段下
(業)英知国際特許事務所	段下
中小企業基盤整備機構	段下
(社福)かいせい	段下
(株)OCL	段下
龍文堂印刷(株)	段下
(社)プロジェクトデザインセンター	折込
第54回優良商工従業員表彰式申込書	折込
はこだてカルチャーナイト	折込
東商検定4種パンフ	折込
健康診断割引制度	折込

# エネルギー動向に関する

我が国は、東日本大震災後1年以上を経てもなお電力についてはその安定供給が確保できない状況にあり、国民生活や経済活動への影響が懸念されています。

今夏、北海道においても電力不足は喫緊の課題であり、具体的な計画停電の実施計画が示されたこともあり、本所会員企業の現状と対応、今後の電気エネルギーのあり方等について探るべくアンケート調査を実施しました。さらに、今後北海道においては、暖房・融雪機器等の使用により冬季が電力需要のピークとなることから、夏より深刻な需給ギャップが心配されることから、電気エネルギーが企業と社会に及ぼす影響についての検証が重要となります。

## 回答企業の属性

業種	件数	割合(%)
建設業	36	14.1
製造業	58	22.7
運輸・通信業	22	8.6
商業	54	21.2
金融・保険業	10	3.9
不動産業	5	2.0
サービス業	57	22.4
その他	13	5.1
合計	255	100

需要区分	件数	割合(%)
大口	39	15.3
小口	105	41.2
超小口	62	24.3
無回答	49	19.2
合計	255	100

従業員数	件数	割合(%)
5名以下	8	3.1
6～20名	80	31.4
21～100名	125	49.0
101～300名	33	12.9
301名以上	9	3.5
合計	255	100

## 節電について

### Q1 東日本大震災後の節電への取り組みについて

項目	件数	割合(%)
取り組んだ	178	69.8
取り組まなかった	76	29.8
無回答	1	0.4
合計	255	100.0

### Q2 (取り組んだ方の)節電程度について

項目	件数	割合(%)
わからない	67	37.6
5%未満	66	37.1
5～10%未満	21	11.8
10%以上	21	11.8
無回答	3	1.7
合計	178	100.0

### Q3 (取り組んだ方の)取り組んだ項目について (複数回答)

項目	件数	割合(%)
こまめな消灯や照明の間引き	157	61.6
冷暖房機器の省運転	109	42.7
OA機器の省運転	69	27.1
節電目標の設定	30	11.8
その他	21	8.2
エレベータの省運転	12	4.7
自家発電	4	1.6
生産体制の時間シフト	3	1.2

### Q4 (取り組んだ方の)経営への影響について

項目	件数	割合(%)
特に影響はなかった	105	59.0
社員の省エネ意識が向上した	63	35.4
顧客サービスに影響が生じた	4	2.2
生産、営業活動に影響が生じた	3	1.7
その他	2	1.1
無回答	1	0.6
合計	178	100.0

### Q5 (取り組まなかった方の)理由について

項目	件数	割合(%)
既に節電行動しており、これ以上は無理であるため	39	51.3
節電をしなくても電力は足りていたと思うため	20	26.3
顧客や取引の都合上、節電は不可能のため	10	13.2
その他	5	6.6
無回答	2	2.6
合計	76	100.0

### Q6 今後の節電程度について

項目	件数	割合(%)
節電はするが、どの程度かはわからない	142	55.7
前年に比べて5～10%の節電ができる	48	18.8
前年に比べて5%未満の節電ができる	45	17.6
節電したいが、実施する余地がない	10	3.9
前年に比べて10%以上の節電ができる	7	2.7
無回答	3	1.2
合計	255	100.0



# アンケート調査結果概要

以下は調査結果の概要です。

- 回答企業の多くが、東日本大震災後、何らかの形で節電に取り組んでいる。(Q1・5)
- 節電の程度は、こまめな消灯や冷暖房機器の省運転など、比較的無理なく、事業活動に影響がでない程度の取り組みとなっている。(Q2・3・4)
- 今後の節電への取組みについても、どの程度節電できるかは分からないが、これまで同様、比較的無理なく行える範囲で乗り切りたいとする企業が多くなっている。(Q6・7・8)
- 電力不足解消のためには、太陽光・風力などの再生可能エネルギーの促進支援が有効との回答が多く、また将来のエネルギーとして期待度が高くなっており、原子力発電については、当面再稼働し段階的に減らすべきとの意見が多くなっている。(Q10・14・15)
- 電力料金は、もし引き上げられた場合には商品やサービスに転嫁できず、事業活動に影響が出ると予測する企業が多い。(Q11・12・13)

## Q7 今後の節電取組が可能な項目について (複数回答)

項目	件数	割合(%)
こまめな消灯や照明の間引き	230	90.2
冷暖房機器の省運転	169	66.3
OA機器の省運転	125	49.0
節電目標の設定	64	25.1
エレベータの省運転	18	7.1
その他	9	3.5
節電を実施する余地がない	6	2.4
生産体制の時間シフト	5	2.0
自家発電	4	1.6
合計	255	100.0

## Q8 今後の節電取組の際の経営への影響について

項目	件数	割合(%)
特に影響はないと思う	119	46.7
社員の省エネ意識が向上すると思う	88	34.5
生産、営業活動に影響が生ずると思う	22	8.6
顧客サービスに影響が生ずると思う	22	8.6
その他	2	0.8
無回答	2	0.8
合計	255	100.0

## Q10 電力不足解消のために“有効”と思うのは (複数回答)

項目	件数	割合(%)
太陽光や風力発電などに対する参入促進支援	191	74.9
サマータイムなど、電力使用の時間シフト	88	34.5
公共交通機関の間引き運行など、電力多消費事業者の時間帯休止	63	24.7
産業拠点の分散化など、電力需要の位置シフト	58	22.7
その他	11	4.3

## 電気料金について

## Q11 将来、原子力から火力や太陽光発電等に安定的に代替された場合の電気料金について

項目	件数	割合(%)
現状を維持してほしい	163	63.9
料金上げはやむを得ない	41	16.1
料金下げしてほしい	40	15.7
わからない	9	3.5
無回答	2	0.8
合計	255	100.0

## Q12 電気料金が引上げられた場合

項目	件数	割合(%)
まったく転嫁できない	172	67.5
わからない	60	23.5
その一部なら商品やサービス代金に転嫁できる	16	6.3
その全額を商品やサービス代金に転嫁できる	4	1.6
無回答	3	1.2
合計	255	100.0

## Q13 電気料金が引き上げられた場合の影響や対策 (複数回答)

項目	件数	割合(%)
売上・利益の減少	175	68.6
管理コストなど経費削減	115	45.1
生産・営業活動の低下	30	11.8
自家発電機の導入など本来予定のない設備導入	28	11.0
その他	4	1.6

## 電力の安定供給について、ほか

## Q14 原子力発電について

項目	件数	割合(%)
安全対策を実施したうえで当面は原発を再稼働し、段階的に減らすべきだ	182	71.4
一切再稼働するべきではない	58	22.7
安全対策を実施し、原発を維持するべきだ	8	3.1
その他	4	1.6
無回答	3	1.2
合計	255	100.0

## Q15 将来のエネルギーとして期待するものについて (複数回答)

項目	件数	割合(%)
太陽光、風力などの自然エネルギーによる発電	219	85.9
地熱発電	119	46.7
火力発電(天然ガスなど)	95	37.3
水力発電	89	34.9
自家発電	35	13.7
その他	10	3.9

## 函館・北斗・七飯経済団体協議会

### 地域インフラ整備の現状について聴講

函館・北斗・七飯経済団体協議会を去る8月8日、本所広域連携委員会と亀田・東・北斗市・七飯町の4商工会から、会長、副会長をはじめ17名が出席のもと、函館市亀田商工会において開催しました。

当日は、今後、取り組むべき課題の一つとして出されていた近隣市町村とのアクセス道路の建設促進の要望活動を展開するために、函館開発建設部の高橋部長を招き、「北海道縦貫自動車道、幹線臨港道路湾岸線、函館新外環状道路の工事の現状と今後について」と題した講話を受けました。

高橋部長の講話では、水産物の安定供給・付加価値の向上を図るための防波堤の改修や岸壁の改良整備、重要港湾である函館港の北ふ頭地区での耐震化整備、日本で唯一国宝のある道の駅として知られている「縄文ロマン 南かやべ」など、国管

理の河川・道路・港湾・空港等の各部門の整備状況について包括的に説明を受けました。

その後に行われた意見交換では、湾岸道路や新外環状道路の進捗状況、道の駅設置などの質問が出され、活発な意見交換となりました。



▲インフラ整備の現状について説明する高橋部長

## ■農水産部会と 2委員会による合同説明会

### 函館市より講師を迎え説明会を実施

農水産部会幹事会・水産海洋都市推進委員会・産学官連携促進委員会による合同説明会を去る9月3日、函館国際ホテルにおいて開催しました。

当日は、函館市経済部経済企画課長の相馬直仁氏から「北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区」について、函館市国際水産・海洋都市推進室次長の本吉勲氏からは「函館国際水産・海洋都市構想」についてそれぞれの事業概要や経過についてご説明をいただきました。説明会后には、制度の活用方法や研究に対する具体的な提言など

活発な意見交換が行われ、函館市の基幹産業である水産業に関連した各事業について、より理解を深める説明会となりました。



▲活発な意見交換が行われた合同説明会

## ■第4回函館市経済再生会議

### 専門家からの意見をもとに地域活性化を協議

経済に精通した有識者で構成する第4回函館市経済再生会議を去る8月25日、工藤市長、松本会頭をはじめ7名が出席のもと、ロワジールホテル函館において開催しました。

始めに工藤市長より、過去3回の会議で出された意見をもとに、これまで市が取り組んできたものや、今後行う事業について説明がなされた後、清水立教大学教授より函館観光の革新と産業としての確立について説明を受けました。清水教授は自然・名所・文化・歴史・食等の地域資源を有機的に繋ぐ「まち歩き観光」や「暮らし観光」にシフトする重要性を説きました。

次に(株)ヒューマン・キャピタル・マネジメントの土井社長より新産業創出と企業誘致について、地方都市で効果が大きい産学連携や、得意産業への特化とアライアンス(企業提携)の推進について説明があり、その後、出席者との活発な意見交換を行いました。



▲地域活性化のための協議を行う参加者

## ■地域活性化特別講演会

### 富山市からコンパクトなまちづくりの先進事例を学ぶ

中心市街地活性化計画の国の第一号認定取得など、まちづくりに対して高い評価を受ける富山市から先進事例を学ぼうと「地域活性化特別講演会」を去る8月29日、230名が参加のもと函館国際ホテルにおいて開催しました。

当日は、富山市の森雅志市長を講師に招き、「公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり」と題してご講演をいただきました。森市長は「人口減少と高齢化が進む地方都市の生き残りには、郊外

に流れた人口を中心部に取り戻すことが必要不可欠」と強調し、平成18年に開業させた全国初のLRT(次世代型路面電車)を利用したまちづくりの成果や中心市街地の活性化に向けた取り組みなどについて解説されました。



▲富山市の先進事例について解説する森市長

## ■函館市中心市街地活性化協議会総会

### 中心市街地活性化基本計画の原案を公表

函館市中心市街地活性化協議会平成24年度第1回総会を去る8月31日、24名の委員及び3名のオブザーバーが出席のもと、ロワジールホテル函館において開催しました。

当日は、初めに、平成23年度事業報告について審議が行われ、原案どおり承認されました。続いて、函館市経済部より函館市中心市街地活性化基本計画の原案について説明が行われた後、各委員より、個人旅行のお客様用に大きな駐車場を整備し消費機会の拡大を図るべきとのことや、電車・バスの利用向上策が必要などという有意義な意見が数多く出されました。

なお、今後、函館市では、各委員等からの意見を参考に、原案の修正作業等を行い、本年11月頃を目途に成案化し、改めて、当協議会からの意見を反映させた後、平成25年1月に内閣府へ認定申請、同年3月に認定を受ける予定となっております。



▲開催に先立ち挨拶を行う永井副会頭

本所元会頭 川田寛殿が去る8月11日、ご逝去されました。

謹んでお知らせ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。

## ■女性会

### 人権問題に対する認識の向上を図る

女性会と（公社）函館法人会女性部会の共催による人権擁護研修会を去る8月28日、内山会長をはじめ他団体からも多くの出席をいただきロワジールホテル函館において開催しました。

当日は、函館人権擁護委員連合会・男女共同参画社会推進委員の滝野幸子氏と函館地方法務局人権擁護課長の戸田正英氏を講師に招き、人権をテーマにご講演いただき、「職場でセクハラやパワハラが無くなれば社員の働く意欲が増大し、企業全体の価値上昇につながる」など具体例を交え説明していただきました。また、講演後には質疑応答が行われ、人権問題に対する一人一人の意識が高まった研修会となりました。



▲人権問題について説明する戸田課長

## ■青年部

### フルマラソン開催を目指し市民にPR

青年部では、フルマラソン大会開催を地域経済発展の起爆剤として考え、2014年にハーフマラソンとフルマラソンの同時開催を目指し活動しており、今年4月には、青年部フルマラソン検討委員

会が主体となり、函館ハーフマラソン実行委員会内にフルマラソン検討部会を立ち上げました。

また、今年の函館ハーフマラソン大会（9月30日開催）では、フルマラソン大会創設をアピールするため、ランナーメンバーはランニングシャツに、沿道応援メンバーはTシャツと横断幕に、「めぐせ！2014はこだてフルマラソン」とプリントし、広く市民や選手に周知啓発を行う予定です。



▲2012 函館ハーフマラソン大会でシャツを着用しフルマラソンをPR

## ■銭亀沢地区青年部

### 約1,000人が来場し黒豚のバーベキューを堪能

地場産のブランド豚を味わい地域活性化を図るイベントの第14回黒豚バーベキュー祭りを去る9月2日、志海苔ふれあいひがし広場において開催しました。

天候に恵まれた当日は、約1,000人の来場者が会場を訪れ、(有)青函トントンより提供された函館男爵黒豚のバーベキューを堪能しました。また、ステージでは、函館巴太鼓や市立銭亀沢中学校吹奏楽部の演奏をはじめ、早食い競争や豪華景品の当たる抽選会など様々な催しも行われ、会場は大いに盛り上がりを見せました。



▲晴天のなか黒豚のバーベキューを味わう来場者



# 第54回 優良商工従業員表彰式

～貴社を支える従業員の皆様に、感謝の気持ちを込めて～

本所では会員事業所を対象に、福利厚生事業支援の一環として、優良商工従業員表彰式を毎年11月に開催しております。

式典では、会員事業所に勤務され、事業主から成績優秀とご推薦をいただいた従業員の皆様に表彰し、記念品の贈呈や記念撮影を行います。その後は長年の労をねぎらう祝賀会もご用意しております。昨年は168名のお申込をいただき、勤労意欲の向上や、会社への愛着の増進につながったなど、大変好評をいただいております。

事業主の皆様におかれましては、今月号に同封しております実施要領をご参照いただき、日頃から貴社の発展に尽力されている従業員の皆様に、ぜひご推薦くださいますようお願い申し上げます。

※申込用紙は本紙に同封しております。

- 日 時 平成24年11月27日(火) 16:00～
- 会 場 **ホテル函館ロイヤル** (函館市大森町16-9)
- 負担金 表彰者1名につき
  - 10年以上 6,000円
  - 20年以上 6,500円
  - 30年以上 7,000円
  - 40年以上 7,500円
- 締 切 平成24年10月19日(金)
- 申込・問合せ 企画情報課 (担当：早稲田、上野) TEL23-1181

## 式典内容

- ・開会
- ・国歌斉唱
- ・主催者挨拶
- ・表彰状授与
- ・祝辞 ご来賓代表
- ・謝辞 受表彰者代表
- ・閉会
- ・記念撮影
- ・祝賀会



あたらしい可能性をプラスする。

# NBOX+ 誕生

常識破りの「斜めの床」  
で日常を変える

買物や趣味、子育て、さらに介護まで。  
空間を自在に変えられる「マルチスペースシステム」が  
さまざまな場面で役立ちます。

Photo: N BOX+ 0.7トンの積載力、ボディカラーは21色、ワンステップ入庫システム（オプション）（21,000円）  
メーカーオプションは別途見積り（消費税別）15,750円、ディーラーオプション（キヤッチアップシステム（VAM 1200V550）  
160,000円）、車行オプション（車行工賃別途、フルサイズタイヤ 143,950円）車行工賃別途（車行に別途見積り）販売価格はメーカー発表価格です。



Hondaの  
軽

軽自動車  
の  
新  
規  
車  
種

6.0-Liバッテリー

全タイプ

### 取扱車種

セダン アコード/インスパイア コンパクトカー フィット ワゴン アコードツアラー  
ミニバン エリシオン プレステージ/オデッセイ/ストリーム/ステップワゴン スパーダ  
ステップワゴン/フリード/フリードスパイク SUV CR-V  
軽自動車 N BOX/N BOX Custom/N BOX+/N BOX+ Custom  
ゼスト/ゼストスパーク/ライフ/ライフディーバ/パモス/パモス ホビオ  
ハイブリッド インサイト/インサイト エクスクルーシブ/CR-Z/フィットハイブリッド  
フィットシャトル/フリードハイブリッド/フリードスパイクハイブリッド



## Honda Cars 南北海道

函館昭和店/函館市昭和4丁目36番22号 ☎(0138)42-8888(代)  
函館竜田店/函館市竜田町6番32号 ☎(0138)45-1401(代)  
北斗大野新道店/北斗市追分2丁目16番3号 ☎(0138)49-1401(代)

※2012年8月現在のラインナップです。

# 中小企業相談所だより

金融

経営改善

税務

労務

法務

新規創業

取引照会

情報化

環境対策

などでお悩みはございませんか? どんなことでもお気軽にご相談下さい

セミナー

## 「成功する事業・失敗する事業」

現場を経験したコンサルタントが語る、起業・事業における成功、失敗のポイント

今まで数多くの企業から相談を受け実際のサポートもしてきた中、同じ業種なのに、うまくいっている事業、そうではない事業があります。その違いは何なのか、うまくいった企業はどのようなことをしてきたのか、体験からお話します。

同時に、起業しても廃業してしまった経営者を客観的に見て感じたポイントや、「素晴らしい企業」の事業発想や実行ポイントなどもお話しします。

【主な内容】

1. どうやって半年で2.5倍の売上を上げる接骨院ができたのか
2. 開店1年後に流行る店、流行らない店の違いはどこにある?
3. 廃業する経営者に学ぶ、気をつけたい5つのタイプ
4. 伸びる企業に学ぶ、事業発想・実行のコツ

●日時 平成24年9月25日(火)  
14:00~16:00

●場所 函館商工会議所 3階会議室

●受講料 無料 (定員50名になり次第締切)

講師 株式会社OCL代表取締役 四ツ柳 茂樹氏

函館市出身。大手通信会社にて最先端の研究・開発、SEとして現場に携わる。技術・ビジネスモデル特許12件提出などに関わる。その後、株式会社OCL設立、創業・経営革新・IT関連コンサルティングに携わり、創業後すぐに売上2倍になる事業者などを輩出。現在では、全国で年間60回以上の公開講演やセミナーも行っている。中小企業診断士、ITコーディネータ。著書「理系アタマのつくり方」(サンマーク出版)、「あたりまえだけなかなかできない 起業のルール」(明日香出版社)

主催 函館商工会議所 お申込み・お問合せ 経営支援課 (担当: 鎌田 Tel23-1181)

## 平成24年度 自家発電設備導入促進事業費補助金 (北海道電力管内先行公募)

本道においては、この冬についても、厳しい電力需給状況が見込まれているため、国(経済産業省)では、今冬の本道向けに「自家発電設備導入促進事業費補助金」の募集を8月28日から開始しました。同補助金は、今夏向けに行った補助要件を大幅に緩和するとともに、一定規模の予算額が確保される予定であり、小口需要家においても活用可能な仕組みとなっております。

事業の概要

- 自家発電設備やコ・ジェネレーションの新增設・増出力、休止・廃止設備の立ち上げを行う事業者等に対して、設備導入補助(リースを含む)や燃料費補助を行います。
- 本事業は、H24.12.3~H25.3.29までの間、以下の要件のどちらかを満たす案件に対して補助を行います。
  - ① 系統に一定時間以上、合計500kW以上の電気の供給が可能なこと(電気事業者へ電気を供給する事業)
  - ② 新たな設備投資により合計20kW以上の新增設・増出力を行い、一定時間以上稼働すること(自家消費の目的で自家発電設備の設置等を行う事業)

条件等

- 補助対象経費/燃料費、設備工事費
- 補助対象設備/ガスタービン、ガスエンジン発電機、ディーゼル発電機、副生ガス・工業プロセス利用の汽力発電設備、コ・ジェネレーション等
- 補助率/大企業1/3、中小企業等1/2

公募期間

平成24年8月28日(火)~10月12日(金)17:00(必着)

(公募要領・申請書等には下記URLにてご確認ください) <http://www.hkd.meti.go.jp/hokpk/20120828/index.htm>

(お申込み・お問合せ) 北海道経済産業局資源エネルギー環境部電力事業課

電話: 011-709-2311(内線2710、2711) FAX: 011-709-4138

E-mail: [hokkaido-denryokujigy@meti.go.jp](mailto:hokkaido-denryokujigy@meti.go.jp)